

北陸支部報

2017/1/15
第8号



目次

年頭のご挨拶	鹿田正昭…………… 1
年頭のご挨拶	渡辺信之…………… 2
支部役員会開催……………	3
「公共測量講習会（金沢会場）」開催される……………	3
講習会開催状況……………	4
開催地別講習会参加状況（平成24年度～平成28年度）……………	7
行事等の報告……………	8
会員の状況（平成28年12月末現在）……………	9
平成29年度北陸支部事業計画（案）……………	9
平成29年度北陸支部空間情報技術事例発表会……………	10



公益社団法人

日本測量協会 北陸支部



年頭のご挨拶

(公社) 日本測量協会北陸支部長
鹿田 正 昭

新年明けまして、おめでとうございます。

平成 29 年 (2017 年) の年頭にあたり、皆様とともに謹んで初春をお祝いたします。

北陸支部の皆様方には平素から測量系を含む地理空間情報を中心として、多くのご支援とご協力を賜っておりますことに対し衷心より厚く御礼を申し上げます。

今年度の北陸支部業務報告会は昨年 6 月 28 日に開催され、本部からは清水英範副会長にお越しいただきました。清水副会長から本部の動向として正会員が 1 万人を突破したこと、測量 CPD 登録者が増えていることなどについてのご紹介とコメントをいただきました。

北陸支部業務報告会終了後に恒例行事となった第 3 回北陸支部空間情報技術事例発表会を開催し、会場に入りきれないほどの参加がありました。今年は福井県を会場として実施する予定であり、新潟から始まった発表会が北陸支部を一巡することになります。

今年度の発表会では石川県に拠点を置く企業から 6 件の発表があり、最優秀発表賞に株式会社国土開発センターの東龍生さん (UAV を用いた測量結果と今後の活用)、優秀発表賞に株式会社日本海コンサルタントの高柳大輔さん (UAV を活用した海食による経時変化の調査事例) が選ばれました。偶然ではありましたが、入賞した 2 件ともに UAV がキーワード

となっており、当該技術の活用が現在の測量界における主要テーマであることを示唆しています。昨秋に行われた支部役員会では、今年の開催地である福井県に限らず、北陸支部会員、準会員や学生など、若い皆さんからの発表および参加を期待する声がありました。

発表会での入賞者および発表者の皆様には協会本部が募集をしている「空間情報技術事例報告集」へ積極的に投稿していただき、北陸支部における空間情報技術者の活躍を紹介するとともに更なる研鑽を積んでいただくことを最終ゴールとしています。その点では、測量協会ホームページに掲載されている「空間情報技術事例報告集」の 2 件がいずれも北陸支部における空間情報技術事例発表会入賞者であることは特筆されるものと思います。

以上のように、昨年も会員の皆様方のご支援・ご協力により新しい企画を実施することができました。ここに改めて会員の皆様方の真摯な取り組みに深く感謝申し上げます。

最後になりましたが、日本測量協会および北陸支部の益々の発展と会員皆様方のご健勝とご活躍、さらにご家族の皆様のご多幸を祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

金沢工業大学教育支援担当副学長



年頭のご挨拶

北陸地方測量部長
渡辺 信之

平成 29 年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

(公社)日本測量協会北陸支部並びに会員の皆様方には、平素より国土地理院の測量業務や測量行政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は熊本県直下を震源とする平成 28 年熊本地震や台風被害が発生し、多くの方が犠牲になり、今なお避難生活をされている方も多く居られ、一刻も早い復旧・復興が望まれるところであります。

国土地理院は、この地震に伴い、現地対策本部への職員派遣、災害状況の把握のために UAV を用いた撮影班を現地に派遣し、関係機関が必要とする地理空間情報の提供等を行いました。

このように、国土地理院は災害対策基本法に基づく政府の指定行政機関として、また地方測量部は地方指定地方行政機関として、国や地方公共団体等の防災関係機関が行う防災対策及び国民の防災活動に資するための地形や土地条件に関する情報及び被災状況を表す情報などを、迅速に提供しているところであります。

北陸地方測量部は国土地理院が提供する地理空間情報(各種地図、空中写真、地理院地図などのツール)が救助・復旧・復興活動に必要な不可欠なものであることを認識し、災害の発生時には、国土地理院の地方窓口として防災関係機関と連携を図り、少しでも被害の軽減が図れるように迅速に情報提供できるように努めて参りたいと考えております。

次に国土地理院が長年取り組んでいる「国土を測る、描く、守る」という仕事は、日々変貌する国土を適切に管理し、最大限に活用する上で根源的なもので、国土が存在する限り不滅であり、不断の取組が不可欠です。

また、この仕事は、単一機関だけで達成できるものではなく、関係機関や団体等による連携・協力が不可欠です。そのためには、先進技術の開発と活用、取組の重要性をわかりやすく伝える広報、持続可能な取組のための教育への支援、すなわち「技術」・「広報」・「教育」(「G・K・K」)に、関係機関と更なる連携・協力を図り、継続的に取り組んでいくことが必要です。

北陸地方測量部としましても、測量業務を推進するためにも測量法及び地理空間情報活用推進基本法を軸に、今年も地理空間情報の活用促進に関する北陸地方連絡会議を開催するなど、業界、学界、国・地方公共団体との連携を図りながら測量行政機関としての役割を果たして参りたいと考えております。

会員の皆様方には、国土地理院が実施します測量行政をご理解いただき、また、様々な機会を捉えて情報交換・情報共有をして参りたいと思っておりますので、昨年に引き続き、何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、(公社)日本測量協会北陸支部の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

北陸支部役員会開催

11月29日(火)に富山市の「ゴルフアートとやま」において、北陸支部役員会を開催しました。この役員会は、北陸支部の今年度事業の中間報告及び次年度の事業計画(案)の概要について、役員の方々に報告し、意見を伺うものであります。

今年度の支部事業については、講習会では一部中止となった講習会もありましたが、参加者は全体としては昨年と同じくらいになっています。中でも「UAVを用いた三次元計測とその利活用(地図作成編)」や「総合評価方式時代の測量技術者スキルアッ

プ・セミナー」<会員無料>などは、定員を超える申込がありました。

次年度事業計画(案)は、ほぼ今年度と同様の講習会或いは行事等を、開催場所を変えて行っていくこととしています。

また、業務報告会及び空間情報技術事例発表会は、当初予定どおり福井市で開催することになりました。

その他、事務局からの提案で、近々に「測量CPDに関するアンケート調査」を北陸支部特別会員に対して行うことが了承されました。

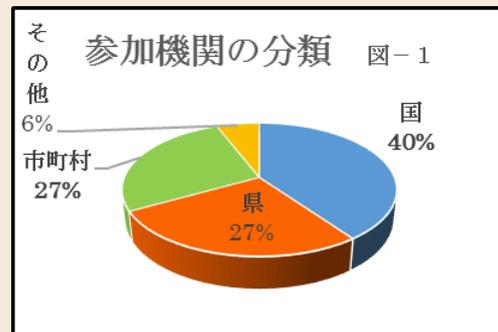
「公共測量講習会(金沢会場)」開催される

日本測量協会測量技術センターでは、「公共工事の品質確保の促進に関する法律「品確法」(平成17年制定)」、「地理空間情報活用推進基本計画(平成24年策定)」を受けて、国および地方公共団体等が作成する公共測量成果の地理空間情報の基盤データとしての利活用の推進をお手伝いするため、測量計画機関の公共測量担当者を対象として、「公共測量講習会」を毎年全国各地で開催しています。公共測量に対する理解を深めていただき、更に測量成果の品質確保を図ることを目的としています。

北陸地方では、11月9日(水)に金沢市の石川県地場産業振興センターで「公共測量講習会(金沢会場)」を開催しました。これにより、北陸地方での開催は、一昨年在新潟市、昨年在富山市により、3年目の金沢市開催となります。

今回の講習会は、北陸地方整備局及び北陸農政局の国の機関、石川県、白山市、七尾市、加賀市の公共測量担当者、及び北陸電力株式会社石川支店用地チームの総勢23名の参加で開催され、参加機関の

分類は図-1のとおりです。



当日のプログラムは国土地理院北陸地方測量部公共測量担当者による「公共測量及び公共測量の手続きについて」と題して、公共測量の実際と公共測量を実施する場合の各種届出の説明がありました。測量技術センターの成果検定、品質確保担当者からは、「公共測量における基準点測量の実際」、「公共測量における地形測量及び写真測量の実際」として、測量の原理、最新の測量技術の紹介とその概要説明、監督員の確認事項及び実際に成果検定で指摘される測量ミスや成果の誤りなどの対処方法と防止策についての解説。そして、最後に「公共測量成果の品質確保について」と題して公共測量を実施す

るにあたり、計画・設計、仕様書作成、監督・検査業務における成果の品質確保に関わる留意事項の説明と受入検査業務の補助的機能である第三者機関による測量成果検定についての説明を行いました。

参加者に行ったアンケート調査結果では、講習会内容についての回答で「非常に満足」、「満足」が6割以上ありました。次年度以降も内容をさらに充実させて継続的に「公共測量講習会」を開催していきたいと考えています。



講習会開催状況（平成28年7月以降開催分）

開催日	講習会名	講師	会場	参加者
7月4日～8日	基準点測量B課程（水準測量コース）	高橋保博	富山市 （いこいの村磯波風）	14名
7月13日	ネットワーク型RTK法による基準点測量	白井康友	長岡市 （ハイブ長岡）	35名
7月14日	電子基準点利用による基準点測量及びGNSS水準測量	白井康友	長岡市 （ハイブ長岡）	30名
7月20日	ハザードマップの作成の基礎 （Web）	足立勝治	富山市 （測量会館）	3名
7月21日	洪水ハザードマップの作成の基礎 （Web）	中村明彦	富山市 （測量会館）	3名
8月2日	公共測量成果のまとめ方	益子 栄 成田 司	上越市 （市民プラザ）	18名
8月8日	GNSSによる基準点測量	益子 栄 成田 司	富山市 （市町村会館）	17名
9月30日	地理空間情報技術セミナー ＜会員無料＞	住田英二 高橋保博 益子 栄	金沢市 （石川県地場産業振興センター）	24名
10月24日～25日	UAVを用いた三次元計測とその活用（地図作成編）	住田英二 村木広和 名草一成	小矢部市 （サイクリングターミナル）	32名
11月15日	総合評価方式時代の測量技術者スキルアップ・セミナー＜会員無料＞	瀬戸島政博 高橋保博 池田晃三	新潟市 （新潟テルサ）	46名

○「基準点測量B課程（水準測量コース）」

7月4日～8日まで富山市にある「いこいの村磯波風」において、「基準点測量B課程（水準測量コース）」の認定講習会を開催しました。

この講習会は、実習を伴った認定講習会となっており、参加者は皆さん真剣に講義や実習に取り組んでいました。なお、実習には、今回もタマヤ計測システム（株）さんの協力をいただきました。



○「ネットワーク型RTK法による基準点測量

○「電子基準点利用による基準点測量及びGNSS水準測量」

7月13日、14日に長岡市の「ハイブ長岡」において「ネットワーク型RTK法による基準点測量」及び「電子基準点利用による基準点測量及びGNSS水準測量」をそれぞれ開催しました。

この講習会は、今後利用される機会が多くなっていくと考えられる両作業について、他の講習会と異なり、平均計算のほか、平均計画図・平均図・観測図等の演習を取り入れた講習会となっています。



○「公共測量成果のまとめ方」

8月2日に上越市の「市民プラザ」において、「公共測量成果のまとめ方」開催しました。

この講習会は、第三者機関である日本測量協会が行っている測量成果検定業務の実績を取りまとめた「公共測量成果検定における指摘事項事例集」に基づき、留意点等を解説し、少しでも公共測量成果の品質の確保を図っていただくための講習会であります。測量成果を取りまとめる上で、大変参考になる講習会ではないでしょうか。



○「地理空間情報技術セミナー」〈会員無料〉

9月30日金沢市の「石川県地場産業振興センター」において、「地理空間情報技術セミナー」を参加者24名により開催しました。

このセミナーは、一般社団法人石川県測量設計業協会と共催のため、日本測量協会

及び各県測量設計業協会の会員は無料で参加できるセミナーとなっています。

日本測量協会では、会員の皆様に少しでもお役に立てられるセミナーの開催を目的に行っており、今回は少し工夫を凝らして

午前の部として、主に人事・管理部門担当者に役立つ測量CPDに関する内容を組み込みました。午後は、測量協会の各講師による「ちょっと気になる地理空間情報技術」、「公共測量の最新動向及び日本測量協会の継続教育体系」、「測量成果の品質確保等」の講義をそれぞれ行いました。



○「UAVを用いた三次元計測とその利活用（地図作成編）」

今、注目を集めているUAVの講習会を富山でも開催することが出来ました。10月24日～25日に小矢部市の「サイクリングターミナル」において、国際航業（株）さんの協力を得て「UAVを用いた三次元計測とその利活用（地図作成編）」講習会を開催しました。

今、あらゆる分野で注目を集めているドローンとあって定員を超える申込がありま

したが、狭い会場のため定員を増やすことができず、目一杯の32名の参加者で開催しました。

今後、測量の世界でも多く取り入れられて行くUAVについて、3月に公表された「UAVを用いた公共測量マニュアル(案)」の解説やUAVの飛行計画や撮影、データ処理等について実施し、参加者は質問等にも熱心にされていました。



○「総合評価方式時代の測量技術者スキルアップ・セミナー」〈会員無料〉

11月15日新潟市の「新潟テルサ」において「総合評価方式時代の測量技術者スキルアップ・セミナー」を46名の参加で開催しました。このスキルアップ・セミナーは、昨年3月に金沢市で始めて開催しており、この新潟が2回目となります。測量・地理空間情報技術者として、様々な能力が今求められている中で、どうスキルを高めて行ったらよいか、技術者にとって大変参考になる内容であると思います。全国10箇所で開催していますが、多くの会場で定員を超えるほど人気セミナーとなっております。



行事等の報告

○とやまみんなの地図作品展を開催

とやま地図作品研究会では、11月19日（土）及び20日（日）の両日、富山市のフーチャーシティ「ファボーレ」1Fときめきの広場において、「第10回とやまみんなの地図作品展」を開催しました。

この作品展は、今年度の応募作品の中から入賞作品に選ばれた11点（小学生9点、中学生2点）を展示したもので、毎年開催しています。

また、表彰式は、19日10時45分から同施設の研修室で行われ、最優秀作品の「とやま地図作品研究会会長賞」を受賞された小学生の部の富山市立堀川小学校3年笹倉心人さんに大西会長より賞状と記念品が授与されました。その他出席された9名の受賞者に賞状と記念品が手渡されました。

今回入賞された11作品のうち7作品（小学生6作品、中学生1作品）は、茨城県つくば市にある国土地理院の「地図と測量の科学館」で1月7日から開催される「第20回全国児童生徒地図優秀作品展」に出展することになっています。また、最優秀作品は文部科学大臣賞及び国土交通大臣賞の候補作品として推薦することになっています。



速報

審査員特別賞受賞

12月15日国土地理院において第20回全国児童生徒地図優秀作品展の国土交通大臣賞及び文部科学大臣賞の選考会が開かれ、当研究会から推薦した堀川小学校3年笹倉心人さんの「私のまち<大泉本町二丁目>ヒストリー」が審査員特別賞を受賞しました。

審査員特別賞の受賞は当研究会では3人（組）目となります。



会員の状況（平成28年12月末現在）

区分	28.3末	28.12末	増減	新潟県	富山県	石川県	福井県
正会員	518	544	+26	276(+24)	111(-5)	95(+7)	62(0)
準会員	1	1	0	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)
特別会員	178	178	0	83(+2)	41(-2)	35(0)	19(0)
合計	697	723	+26	359(+26)	153(-7)	130(+7)	81(0)

平成29年度北陸支部事業計画（案）

（1）北陸支部主催講習会計画

講習会名	場所	時期（期間）
基礎講座 測量数学・誤差学の基礎（Web）	富山市	4月（1日間）
路線測量・用地測量	新潟市	4月（1日間）
初めての簡易型技術提案書作成	長岡市	5月（2日間）
TSによる3,4級基準点測量及び水準測量	金沢市	5月（1日間）
UAVを用いた三次元計測とその利活用（基礎編）	新潟市	7月（2日間）
基礎講座 ハザードマップ作成の基礎（Web）	富山市	7月（1日間）
基礎講座 洪水ハザードマップ作成の基礎（Web）	富山市	7月（1日間）
GNSSによる基準点測量	金沢市	8月（1日間）
ネットワーク型RTK法による基準点測量	上越市	9月（1日間）
電子基準点のみを既知点とする基準点測量及びGNSS水準測量	富山市	9月（1日間）
公共基準点測量成果のまとめ方	福井市	9月（1日間）
地理空間情報技術セミナー〈会員無料〉	富山市	10月（1日間）
総合評価方式時代の測量技術者スキルアップ・セミナー〈会員無料〉	福井市	11月（1日間）
測量士答案練習セミナー（Web）	富山市	3月（5日間）
測量士補答案練習セミナー（Web）	富山市	3月（4日間）

本部主催講習会	場所	時期（期間）
河川測量設計（Iコース）（Web）	富山市	4月（5日間）
基準点測量B課程（基準点測量コース）（実習なし）	長岡市	6月（7日間）
河川測量設計（IIコース）（web）	富山市	7月（5日間）
GIS B課程（IIコース）（Web）	富山市	8月（6日間）

(2) 行事等計画

行事等	場所	開催時期
第3回測量・地理空間情報イノベーション大会（Web中継）	富山市	6月
北陸支部業務報告会	福井市	6月
北陸支部空間情報技術事例発表会	福井市	6月
北陸支部役員会	富山市	6月 12月
公共測量品質管理優秀賞表彰	福井市	6月
公共測量講習会（測量計画機関対象）	福井市	11月

(3) 北陸支部報・北陸支部通信

1. 北陸支部報
7月及び1月にWebによる刊行を行う。
2. 北陸支部通信
会員への情報伝達手段として、メルマガ「北陸支部通信」を月1回のペースで配信する。
3. ホームページ（測量情報館）のWebサイト「支部からのお知らせ」
会員への情報伝達手段として、「支部からのお知らせ」欄を充実させ、活用を図っていく。

※講習会等については、場所あるいは時期等が変更になる場合があります。

平成29年度北陸支部空間情報技術事例発表会

北陸支部では、空間情報技術者の育成と空間情報技術の一層の普及及び情報共有を図ることを目的として、平成29年度も「空間情報技術事例発表会」を開催します。

加えて、この発表会は、測量協会本部が募集をしている「空間情報技術事例報告集」に投稿していただき、北陸支部における空間情報技術者の活躍を紹介することも目的の一つとなっていますので、北陸支部管内の技術者、学生の皆さんの積極的なご応募をお願いします。

応募概要

1. 募集内容

発表者自身の業務上の体験及び研究成果や日頃感じている問題点等の空間情報（地理空間情報及び測量を含む。）に関係した内容とする。

2. 応募対象者

北陸支部管内の空間情報技術者又は空間情報関係の学生等で、概ね 40 才未満の者とする。

3. 発表時間

一課題の発表は、質疑応答を含め 20 分以内とする（発表 15 分、質疑 5 分）

4. 発表日時及び場所（予定）

日時：6 月 26 日(火)15:00～

場所：福井市(会場未定)

5. 応募

(1) 発表希望者は、3 月末までに北陸支部事務局に所属、氏名、年齢、発表名を申し出る。

(2) その後、発表の決定を受けた者は、5 月末までに発表する内容の概要（要点：200～300 文字）を北陸支部事務局にメールで提出する。

(3) 発表当日の資料(別途標準様式により作成)は、事前（10 日前まで）に北陸支部事務局にメールで提出する。

6. 表彰

審査の結果、優れた発表者に対しては、賞状及び副賞を授与する。

《問合せ・応募先》

公益社団法人日本測量協会北陸支部 担当：名取

〒939-8094 富山市大泉本町 1-12-14 測量会館

T E L 076-422-3305 F A X 076-422-3403

E-mail：natori@jsurvey.jp



謹賀新年

昨年中は何かとお世話になり、有り難うございました
今年もよろしくお願ひします
会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます

平成二十九年 元旦

公益社団法人

日本測量協会北陸支部

職員一同



**測量CPD及び技術者継続教育証明制
度(SUCCESS)の登録、更新を行いまし
よう。**



~~~~~ ☒ ~~~~~ ☒ ~~~~~ ☒ ~~~~~ ☒ ~~~~~ ☒ ~~~~~

編集・発行 公益社団法人 日本測量協会 北陸支部

〒939-8094 富山市大泉本町 1-12-14 (測量会館内)

- 事務局 ・TEL 076 (422) 3305 ・FAX 076 (422) 3403  
E-mail [hokuriku@jsurvey.jp](mailto:hokuriku@jsurvey.jp)
- 技術センター ・TEL 076 (421) 5445 ・FAX 076 (422) 3403  
E-mail [hokuriku@geo.or.jp](mailto:hokuriku@geo.or.jp)